

高次脳機能障がいの支援について

～ライフステージに応じた切れ目のない支援をめざして～

本研究集会は、障がい者の支援に関する問題や、地域におけるリハビリテーションのあり方などについて研究発表を行い、障がい者の支援やリハビリテーションの向上をめざすことを目的に実施します。

2023年11月29日(水)・30日(木)

日程・場所

会場：たかつガーデン（大阪府教育会館）

〒543-0021 大阪府大阪市天王寺区東高津町7番11号

・近鉄線 大阪上本町駅（地上ホーム）より 200m

・OsakaMetro谷町線・千日前線 谷町九丁目駅①番出口より 500m

4年ぶりの
対面開催
です!!

11月29日(水) 10:00～17:30 ※受付 9:30 開始

基調講演

「脳の障がいとして理解する」

～認知症、発達障がい、高次脳機能障がい～

上田 敬太 氏(京都光華女子大学 教授)

行政説明

「障害保健福祉施策の動向について」～次期報酬改定を踏まえて～

周藤 方史 氏(厚生労働省 社会・援護局 障害福祉専門官)

分科会 I～IV

「研究発表等」

分科会(研究発表)の詳細は裏面

11月30日(木) 9:00～13:00

活動報告

「全国障害者自立訓練事業所協議会 活動報告」

全国障害者自立訓練事業所協議会

特別講演

「ネットワークの大切さについて」

池田 学 氏(大阪大学大学院医学系研究科 精神医学教室 教授)

シンポジウム

「ライフステージに応じた切れ目のない支援」

～ネットワークの構築について考える～

シンポジウムの詳細は裏面

シンポジスト

増田 基嘉 氏(堺市健康福祉プラザ生活リハビリテーションセンター 所長)

藤井 由記代 氏(社会医療法人大道会 森之宮病院 診療部副部長)

吉村 栄夫 氏(特定相談支援事業者 相談支援センター迅 代表理事)

当事者の方 (自立訓練利用経験者)

進行・助言

池田 学 氏(大阪大学大学院医学系研究科 精神医学教室 教授)

佐藤 正康 (大阪府立障がい者自立センター 所長)

お申込みについて

- (1) 申込み期限 令和5年10月31日(火)
※定員になり次第、締め切らせていただきます。
- (2) 参加費 一人 7,000円 定員 先着150名
- (3) 申込み方法／申込みについてのお問合せ
右記のGoogleフォームのURL(QRコード)からお申込みください。
東武トップツアーズ株式会社 堺支店
050-9000-9306 担当者: 駄田井(だたい)

申込はこちら



■事務局（内容についてのお問合せ）

主催：全国障害者自立訓練事業所協議会

後援：大阪府・大阪市・堺市・大阪府社会福祉協議会・大阪府医師会・大阪府理学療法士会・

大阪府作業療法士会・大阪府言語聴覚士会・大阪社会福祉士会・大阪介護福祉士会・

大阪精神保健福祉士協会・大阪介護支援専門員協会・大阪医療ソーシャルワーカー協会（※順不同）

全国障害者リハビリテーション研究集会2023 大会事務局：

〒558-0001 大阪府大阪市住吉区大領3丁目2番36号 大阪府立障がい者自立センター（澤田・木村）

TEL：06-6692-2971 FAX：06-6692-2974 E-mail：jiritsu-c@sbox.pref.osaka.lg.jp

研究発表 11月29日(水) 13:30~17:00

分科会Ⅰ 支援プログラムに関する取り組み

社会復帰に向けた支援を中心に行うなかで、さまざまな職種の職員が多面的な角度からアプローチをして、日々工夫を重ねています。
分科会Ⅰでは、支援現場で取り組んでいるプログラムや支援内容について報告していただきます。

分科会Ⅱ スマホやタブレット等のICT活用に関する取り組み・その他

ICTは情報通信ネットワークなどを利用したコミュニケーション技術の総称で、身体活動の制限や、認知の特性、読み書きや思考の整理などにおける困難を軽減し、解消するために有効と言われています。
入力支援機器や補助用具などの情報機器の使用を促進することは、障がいのある方の意思決定力を高め、生活の豊かさをもたらします。
分科会Ⅱでは、実際に現場で導入されている、ICTの活用について発題していただき、意思決定支援の現状について伺います。

分科会Ⅲ 就労準備、就労支援に関する取り組み

受傷、発症前は一般就労していた方が大部分を占めています。訓練終了後にスムーズに地域移行を進める上で、就労に関する課題整理を行うことはもちろん、さまざまな就労支援機関との連携は欠かせません。
分科会Ⅲでは、事例報告や、現場で実践している就労支援のアプローチの方法などを報告していただきます。

分科会Ⅳ 自動車運転に関する取り組み

仕事や生活を送る上で自動車の運転が欠かせない方は少なくありません。しかし、自動車運転の再開のためには公安委員会での適性検査や、場合によっては医師の診断書が必要なものの、対応できる医療機関はまだ少なく、対応に苦慮している方がいるのも事実です。
分科会Ⅳでは、自動車運転再開のための支援の取り組みをしている事業所から、現状の取り組みや課題について発表していただきます。

シンポジウム 11月30日(木) 9:00~13:00

ライフステージに応じた切れ目のない支援 ～ネットワークの構築について考える～

地域のなかで対象者となる方を支えられるネットワークのあり方について、またネットワークや連携の中で自立訓練に求められるもの・あり方についてディスカッションを行います。
支援に繋がらない人や、連携がうまくいかずに支援が継続されないなどの課題について、それぞれの立場(当事者・自立訓練施設・病院・相談支援事業所)からご意見をいただきます。
そして、切れ目のない、ライフステージに応じた支援を構築するために、どのようなことが必要か、また「主体的に社会参加し、それを継続できるようにする」といった自立訓練の目的を達成するために、自立訓練施設に期待することや求められることについて検討を深めます。



©2014 大阪府もずやん